

## 平成19年度 防災教育推進モデル指定校事業 「防災についての基礎学習」講演について

- 1 目的 : 防災教育推進モデル指定校として、生徒一人ひとりの実践的防災対応能力の向上を図るとともに、地域と連携した防災ボランティア活動の実践力の育成に努めることを基本に、防災教育を実践する。
- 2 日時 : 平成19年7月6日(金) 3時間目  
午前11時10分～12時00分
- 3 場所 : 本校体育館2F
- 4 内容 : 「防災についての基礎学習」
- 5 講師 : 徳島大学環境防災研究センター 黒崎 ひろみ 氏
- 6 参加者 : 本校2学年生徒(359名)
- 7 日程  
11:10～11:15 講師紹介  
11:15～12:00 講 話  
12:00～12:05 お礼の言葉



### 8 講演会の感想

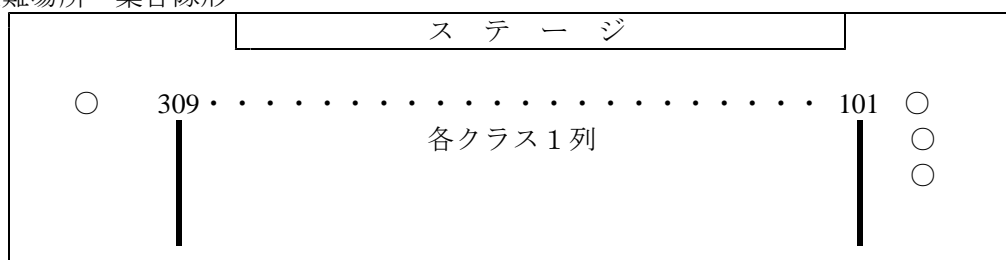
- 自分が地震災害について、どれだけ知らないかがよく分かった。
- 地震の怖さや対策についての正しい知識を深めることができた。
- 南海地震に対しての危機感が強まり、自分の家も何かしなければと思った。
- 地震についてよく理解できた。とても怖いので、家族と話し合いました。
- 交通事故が起こる確率より地震が起こる確率が高いと知り、驚きました。

# 避難訓練実施要項

1. 期 日 平成19年9月3日(月)
2. 目 的 防災意識を日常生活の中で育み、火災・地震・事故等の発生時における人命の尊重・財産の保全管理などに対して緊急かつ迅速な避難行動ができるよう訓練を実施する。
3. 日 程
 

8:50~8:55	SHR
9:00	出欠状況報告 担任による訓練実施直前出欠調査 (担任は管理職前の「避難訓練出欠調査票」に記入する。)
9:05~ 9:15	HR活動(訓練の意義、避難経路の説明と注意指導) 出火放送・非常ベル(出火場所: 食堂) 非常ベル: 火災現場近くの非常ベル(徳永) 通報: (徳永) → 職員室(30) 校内放送: 南部教頭 「訓練です。(食堂)より出火しています。すぐ避難してください。」 消防署連絡: 新川 「訓練です。城北高校の(食堂)から出火しました。私は教務課長新川です。」
9:15 ~	避難訓練 ①避難経路に従い(体育館)へ避難 ②各HR単位で集合 ③人員確認・報告 ④講評 武知校長 ⑤講話・訓話 ( )
10:00	お礼の挨拶(生徒代表)

4. 避難経路(別紙参照)
5. 避難場所・集合隊形



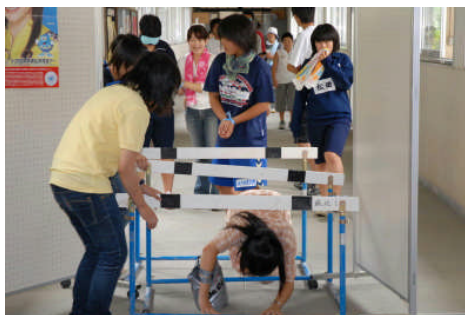
6. 人員確認
  - (1) 各HR → 担任 → 学年主任 → 南部教頭
  - (2) 計時: 湯藤
7. 注意・連絡事項
  - (1) 出火連絡放送後は、避難場所に向け迅速に行動する。
  - (2) 避難場所では、各HR集合完了後、委員長は人員点呼し担任に人数を報告する。
  - (3) 各担任は、生徒より受けた人数を学年主任に報告する。
  - (4) 各学年主任は、南部教頭に避難状況を報告する。

## 平成19年度 防災教育推進モデル校指定事業 小・中・高・地域 合同防災訓練 実施要項

1. 実施団体 徳島市千松小学校，徳島市城西中学校，徳島県立城北高等学校
2. 協力団体 徳島市社会福祉協議会，まなぼうさいプロジェクト，徳島新聞社  
徳島大学環境防災センター，四国大学，徳島文理大学
3. 日 時 平成19年9月23日（日）9：00～15：00
4. 開催場所 徳島県立城北高等学校  
使用場所 食堂，西駐輪場，校舎（裏面参照），岡田記念館，保健室，会議室
5. 参加予定者 千松小学校（児童・保護者），城西中学校（生徒），城北高等学校（生徒），加茂・佐古地区（住民）  
約70名程度
6. 日程（案）

8：15	教職員集合・打ち合わせ	11：00	段ボールトイレ作り
8：30	班分け掲示（自転車置場）	11：40	休憩
8：40	出欠確認（自転車置場）	11：50	トイレ評価
9：00	開会式（食堂）	12：00	昼食（避難食）中庭
9：05	オリエンテーション	13：00	簡易タンカによる水運びゲーム
9：20	災害映像・被災体験談	14：00	グループワーク（食堂）
9：50	避難シミュレーションゲーム	14：50	閉会式

- 7 準備物 中袖の古着，2リットルのペットボトル（空）1本



### 8 感想

- 避難シミュレーションゲームでは，誘導する人がしっかり手や声で教えてあげることや，肩を貸してあげて支えになってあげるのが大切。
- 簡易トイレづくりでは，どこを優先して作るべきかわかりませんでした。
- 昼食では，水がなかったらラーメンは食べられないけど，缶詰は便利だ。

## 徳島県立防災センターでの研修

1 日 時： 平成19年11月22日（木） 13：30～1700

2 参加者： 第2学年5組（37名）



### 3 感想

- 震度7の揺れを体験してとてもびっくりしました。震度5とは全然違う揺れで、横揺れより縦揺れの方が怖かったです。揺れだしたら何をしてもいいのかわからなくなって、動揺してしまいました。
- これからは防災センターで体験した地震が不意にやったらどうなるだろうと考えながら、家の中の工夫をやっていきたいです。
- 地震体験だけでなく、消化器の使い方や煙の体験など、本当に行ってもよかったと思うものばかりでした。南海地震が起こっても大丈夫なように日頃から準備をしておきたいと思います。